



GIRLS und PANZER

GIRLS und PANZER

2018.SUMMER
Sakeru Kito PRESENTS

R18
adult only

This is a fan of the book GIRLS und PANZER.
Because it is for adults, 18 years old and younger are not allowed to read.



CAMBRISM

これー

どういふことなのか
説明して欲しいな

私写ってるのに
動画アップした
しちゃったんだ

優花里さんは
自分が気持ち
良くなれれば
それでいいんだ

ちがッ…

違わないよね!

ごめんねー
怒ってる
わけじゃないから

でもこれからはー



管理してあげるね

露出こっしゅうこはもちろん

一人エッチもー

欲求こころもとという欲求こころもと全部

だから
優花里さんは

私がいーんな

立派な

ボコになっ
てね

こうして西佳殿の
『管理』が始まりました

初日の「管理」は
『遠隔操作のローターを
付けて過ごす』だそうです

スイッチの
タイミングは
すべて西住殿次第

トキッ

トキッ

いつスイッチ
入れられるか
ドキドキします

でもー

思ったより普通
といますか…

私ってば
なんて
失礼な事を…

ガン

ガン

キーン…
キーン…

さすがに
一限からは
なかったですね…

よく考えたら
クラスも違うから
私の反応も
見れないですしね

電波が届くかは確認済み

きつと本番は
合同授業がある
お昼以降

皆でお昼ご飯を
食べるときに
スイッチを入れる
つもりですわね…!

さあ…いつでも来て下さい…

優花里さん
息荒いけど大丈夫ですか？

えっあははっ
大丈夫ですッ

ご馳走様でしたー

あれ…？
なにも
しない…？

五限 合同体育

アレッ？

六限 視聴覚

アレッ？

戦車道練習

早く…

早くしないとッ

学校
終わっちゃいます…

あの…
西住殿…



え？

ダメですッ

こんな下校中の人がたくさんいる中で

頭がハツケでッ...

振動ッ

ダメッいまッ

スイッチ…!?

快感に流されたらッ

アッ

イクッ

イクッ



木木木!?



西住殿の「管理」は私が想像してたもの遥かに超えていました！

はー!

はー!

おおああ

ハッハッ

ハッハッ



ゆかりん
昨日下校中
倒れたんだって？

…

ゆかりん？

あ

あッはい…



優花里さん
大丈夫？

ふーっ

西住殿…ッ



こんな食堂で
皆さんの前で…
足でなんて…ッ

こんなの…
すぐに
イってしまいます…ッ

グニ



ゆかりん本当に
大丈夫…？

セクシメ

あッ

ごめん
麻子さん
拾っていい？

えっ!? 西住殿
何考えて…

わかった

見られちゃうッあッ
バレちゃいますッ





ごめんね
優花里さん

私つい夢中に
なっちゃって

…いえ…
何とかごまかせ
ましたし…
それに…

気持ちよかった？

コソソ

でも…



まだ
もの足りない
よね？

おわびにちゃんと
気持ちよくして
あげるから



まずは…

うっ…

む

「体調が悪い」んだから
マスクしないと

臭いっ!

優花里さんの
パンツの
クロッチマスク
だよ?

自分のニオイも
しっかり覚えてね?

優花里さん結構匂い
強いから笑

それとー

学校のベッドだから
さすがにべちゃべちゃ
にできないからー

これでよしっと

オ…オムツですか…

キヨミン

うん…
だってたぶん

さっきの食堂の時
よりも

ぐちゃぐちゃに
なっちゃうから

ケキッ





あれ…今イケ
そうだったのに…

さっきから…
イケそうで…
イケてない…



また皆の前で
イツちゃおうか？

オムツつけてるから
いくらでもイツて
いいんだよ？



授業終わったね
そろそろ皆
様子見にきて
くれるかな？

あ…

優花里さん大丈夫ですか？

みんなお見舞いに来てくれたよ？

優花里さんー？

そのままオムツにみんなの前でお漏らししちゃお？

おしっこするだけですごいの来るよ

ほらっ

しーしー

しーしー

しーしー

しーしー

ムイイイ...

はは

はは

はは

はは

はは

はは



…まだ体調
わるそうだね

…何か…
匂いが…
アンモニア臭が…



え…

おしっこが
おなかに周って
きてます



オムツの
吸水が…



あのっ…
西住殿…!

こんな
アクシデントも
ありませんが！

わっ私
優花里さん
送っていくので
今日は皆さんだけで
練習してくださいっ…

学校も練習も
休みの日は

西住殿の部屋で
ゆっくり時間を
かけて「管理」
してもらえ
ことになりました

今日はずっと
キスしながら
気持ちよく
なるうね

キスしてる間は
絶対動いちゃ
だめだからね

へへへ…
西住殿との
キス…

ずっと…
ですか…

それと
これ…
私の声
録音した音源

これ聞きながら
気持ちよくなってるね

ハイ?

12:00

フフ…じゃあ

はじめよっか



かれこれ二時間

呼吸に
使われる空気
部屋全体の
空気が全部

西住殿と私の
ニオイで
満たされ

お互いが共有する
水分も混ざり合い

お互いの皮膚が
ふやけて境界線が
曖昧になっていきます

14:00

体温も西住殿の温度

目の前にはずっと
西住殿の顔

聴覚も西住殿
満たされて

感覚がない...
粘膜の快感だけ

それでも
ギリギリの所で
一度もイカされない

18:00

すごい多幸感で
満たされて
ずっとうとうしてた

頭がぼろぼろと
何も考えられない

そろそろ
イこっか?

じゃあ...

イッていいよ

ほりイッて

私の顔みながら

優花里さん

気持ちい

イク

イク

異常なまでに
行動感覚を
支配される

こんな「管理」が
積み重なる間に

日常でも
西住殿の
声だけで
「スイッチ」が
入ったように

命令を拒否する
気すら沸かなく
なっていました





あの…
ゆかりん…
辛い…
だけ…

夏だから
ある程度は
仕方がないけど…
臭いが…ね…



それに
汗ワキパッドを
つけてねって

す…すみません
すみません…

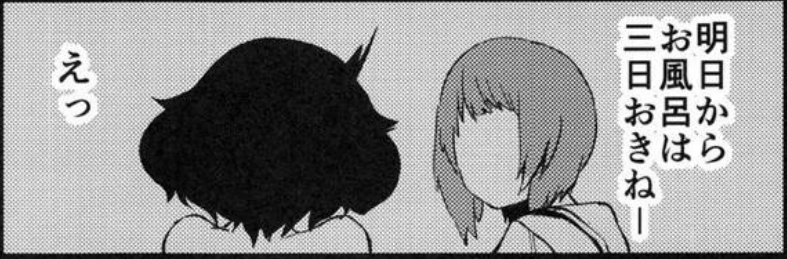


むわ
むわ



優花里さん
あんこう音頭の
時に興奮
したんだよねー

皆にたくさん
優花里さんらしい
ニオイいつばい
臭いで貰おうね



明日から
お風呂は
三日おきねー

えっ



今大丈夫だから
いってきなよー

すみません!!
すぐ終わらせ
ますので…

ハイッ



優花里さん
…もしかして
お手洗いですか?

いえ…
そんな事は…

そしてもちろん…

排尿も西住殿の許可が
おりた時です…

ああー
見られてますう！

皆に
私のおしっこ
してるところー

おしっこ
気持ちいい！！



え…
ちよつと…
まさか…

今思うと
この頃すでに



もつと
草むらとかで
やればいいのかで…

あー



あれじゃ
みんなに
みえちゃってるよ



完全に
おかしくなって
いたみたいですよ

モリッ

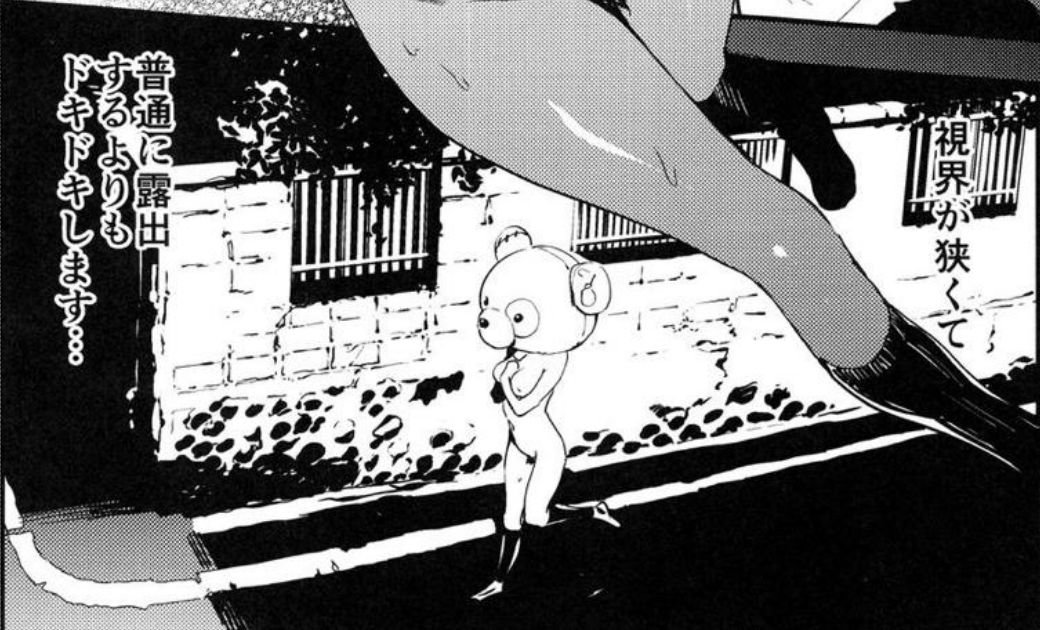
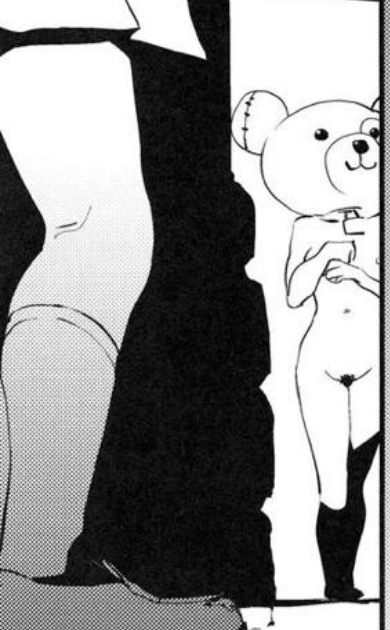
優花里さん
早く

夜で人通りが
少ないとはいえ
こんな不審者みないな
格好で…

大丈夫だって
ちやんと
隠れてるから

本当にこんな格好で
歩くんですか…?

西住殿…



普通に露出
するよりも
ドキドキします…

視界が狭くて



キキキキキキ

このまま二人にオナニー見せたらッ
どんなにキモチいか…
いいよ優花里さん



武部殿に冷泉どの…!!
どうしてこんな時間に…!!
パニックつと同時におどろい勢いものがこみあげでッ!!



したいでしょ?

：夢中で
走ったから
西住殿も
まいちゃった
みたいです…

公園…

誰もいない…

：こんな時間で少し
顔も隠れますし…
大丈夫ですよ…





あれ…
何事かと思った
女の子が
オナってるんじゃない

え!? 男の人!?

体はめっちゃ
よさそうじゃん
顔見せてよ

ん?
鍵かかってんな

この人たち
酔ってる…?

視界悪くて
全然気が
つかなかった…!



おいかくすなよっ

うわっ
マンユクっさ…

ハハハ:
本当だw

やっやめて
ください!
人:人
呼びますよっ!!

おー
呼べ呼べ!



西住殿!?

西住殿!?

ほっ

ほっ



この公園
しかもこの時間じゃ
人もこないしな

こんなエグい
格好して
レイプしてくれって
言ってるような
もんだぜ





やっやめっ

うわっ何だよ!
中グチヨグチヨ
じゃん!w

めっちや
しめつけてくるし



私が誰かも
わからないでー

ただ性欲処理のために

こんなノイヤですっ

やだよお...



うえッ!?

西住殿 お...ッ

西住殿





おしりの穴っ!?



いやっ!

オエッ...

なんかマスクの中で吐く声が...

あゝ? しらねーよ

優花里さんー



ごめん 優花里さんっ

私動けなくて

はっ

え?



うん 見えてるよ

たッ 助けてくださいっ

西住殿

いまっ 見えてますかッ!?



西住殿...?

興奮しすぎて

腰抜けちゃって

優花里さんが
ボコっだったから

本物のボコだからッ!

え?

えっ



さっきから
なにいつて
やんがんだ？

私こんなの
いやですッ

そんなあツ
ヒドいです！

ああ♥ボコだあ♥
ボコが本当に
ボコられてる♥



ごめんねっ♥

ごめんねっ♥



ごめんね

あまりにも
かわいいから

ボコになってる

優花里さんが









すごい
ボコだよお♡♡

ボコだあ♡
すごっ♡

ボコだあ♡

はああ♡

優花里さん♡

逃げろッ
やべッ

もつとボコになれるかな...



ごめんなさい...

でも...

優花里さんが
あまりにも
ボコで
可愛かったから...

ハッ...
ハッ...

ゆかりんから
呼び出しなんて
なんだろう...

みぼりん
知ってる？

ううん...

はっ

え？

ゆ...

優花里さん...?

みなさんっ

私がッ
秋山優花里がッ

公開オナニーで
自分の
パンツ嗅ぎながら

ガッ
ガッ

ガッ

イクところ
見てくださいッ！

ガッ

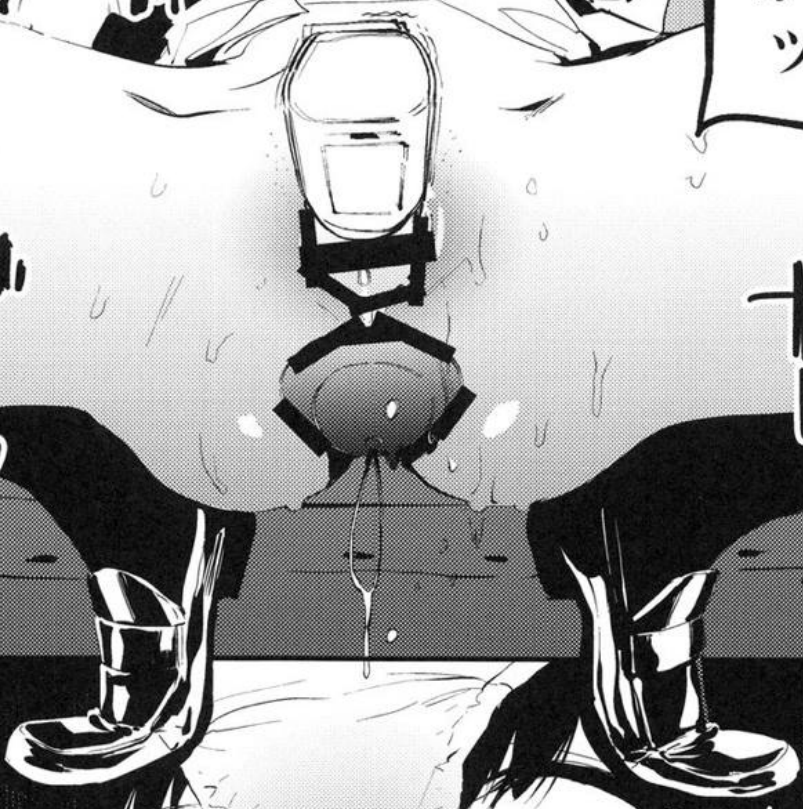
ガッ

キャラクター...

ならなら...

ガッガッ

ガッガッ



あーがき

この度はお買い上げありがとうございました。
鬼頭です。

第二話 発表されたお楽しみです。

このシリーズは一旦ここで終了です。
でもまだお見せの段 描き足りないの？
別のお話で書きたい思います。

又おかしな部分で、またまたお話し。



「プライベート・アキヤマ3」

サークル：カムリズム
P.N：鬼頭サケル

ニジエ：<https://nijie.info/members.php?id=208466>
pixiv：<http://www.pixiv.net/member.php?id=9472922>
MAIL:sakerukito@yahoo.co.jp
twitter:SakeruKito
SakeruKito2

発行日：2018.8.12
コミックマーケット94
発行者：鬼頭サケル
印刷所：上野印刷所様

